

科目名		授業形態	担当教員名	
病理学		講義	小川 隆文	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人の病気の本態を原因から結果まで総論的に学ぶ。代謝異常と退行性変化、循環障害、進行性病変、炎症（感染症）、免疫異常、腫瘍、先天性疾患などの病理学的分類に沿って学習する。				
授業の到達目標				
病理学総論として、原因～症状・転帰までを総合的に把握し、基本的な変化や症状の成り立ちについて理解できることを目標とする。				
授業計画				
回	内容			
1	序論(1) 疾患の概念と分類、症状と病期			
2	序論(2) 病因論(内因・外因)、老化と死			
3	代謝異常(1) 先天性代謝異常と内分泌異常			
4	代謝異常(2) 蓄積症と沈着症、退行性変化(変性萎縮と壊死)			
5	循環障害(1) 局所性循環障害(虚血・充血・鬱血・浮腫、血栓・塞栓・梗塞)			
6	循環障害(2) 全身性循環障害(貧血・急性循環不全・血圧・心血管異常・出血・凝固異常)血液疾患含む			
7	進行性病変 再生、肥大、過形成、化生、肉芽組織(創傷治癒と異物処理)			
8	炎症(1) 急性炎症(変質性炎・滲出性炎)			
9	炎症(2) 慢性炎症(増殖性炎)・肉芽腫形成性炎(特殊性炎)			
10	感染症 病原性微生物と感染様式			
11	免疫異常 アレルギー・自己免疫・免疫不全、臓器移植			
12	腫瘍(1) 良性腫瘍と悪性腫瘍(生物学的影響と分化度・発育様式・転移)			
13	腫瘍(2) 上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍・小児の腫瘍			
14	先天異常(1) 遺伝と遺伝子病(優性・劣性遺伝とX連鎖・非メンデル遺伝)			
15	先天異常(2) 染色体異常と奇形			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
わかりやすい病理学 改訂第6版 (別紙プリント配布)	磐田隆子		南江堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				